

コミュニティ機能の使い方

こんにちは、松下です。

今回は、「コミュニティ機能の使い方」について解説します。

コミュニティ機能とは、視聴者とコミュニケーションを取るためのツールになりますが、この機能を上手に使うことで視聴者との絆を深めることができ、再生数や登録者数アップにつなげることができます。

非常に大事な話になりますので、最後までしっかりとご視聴ください。

それでは、張り切って参りましょう！

まずは、コミュニティ機能の概要について解説します。

こちらは、YouTubeのガイドラインになりますが、コミュニティについての概要が記載されているので、上から読みあげます。

「コミュニティ投稿にアクセスできるクリエイターは、リッチメディアを使用して視聴者と交流できます。コミュニティ投稿には、ア

ンケート、GIF、テキスト、画像、動画を含めることができます。

コミュニティ投稿は、動画のアップロード以外で視聴者とやり取りできる手段です。投稿は常にコミュニティタブに表示されます。ホームフィードや登録チャンネルフィードに表示されることもあります。」

となっていますが、簡単にいうと「コミュニティ機能とは、動画以外で視聴者とコミュニケーションを取る手段」ということになります。

その下の「コミュニティ機能の利用資格要件」ですが、

「コミュニティ投稿には、1,000 人以上のチャンネル登録者を持つクリエイターがアクセスできます。チャンネル登録者が 1,000 人以上になった後、コミュニティタブが表示されるまでには 1 週間ほどかかります。なお、YouTube ではこの機能のテストを引き続き行っているため、それ以外のチャンネルでもコミュニティタブを利用できる場合があります。

コミュニティタブの利用資格があるにもかかわらずタブが表示されない場合は、カスタム チャンネル レイアウトを有効にしてください

い。

チャンネルの視聴者が子ども向けに設定されている場合、コミュニティ タブは無効になります。また、投稿の作成や表示もできなくなります。」

となっていますが、こちらは簡単にいうと「コミュニティ機能は、登録者数が1,000人を超えると使えるようになりますが、子供向けチャンネルでは使うことはできません」ということになります。

その下の「コミュニティ投稿を見る」ですが、

「コミュニティ投稿はすべて、チャンネルのコミュニティ タブと、YouTube Studio の コンテンツ セクションで見ることができます。YouTube Studio で投稿を見るには:

1. YouTubeスタジオにログインします。
2. 左側のメニューから 「コンテンツ」 を選択します。
3. 「投稿」 タブをクリックします。

コミュニティ投稿を後日公開するよう設定した場合、そのコミュニティ投稿は YouTube Studio と、コミュニティ タブの [公開予約] セクションに表示されます。このセクションは自分だけが閲覧でき

ます。」

となっていますが、簡単にいうと「コミュニティの投稿は、YouTubeスタジオのコンテンツから投稿を開くと見ることができる」ということになります。

その下の「投稿に対する視聴者の通知設定について理解する」ですが、

「登録チャンネルの通知を受け取ることを選択した視聴者は、コミュニティ投稿の通知を受け取ることもあります。

視聴者はベルの設定で「なし」を選択して、投稿の通知を無効にできます。

また、チャンネル登録はしていなくても頻繁にチャンネルの動画を視聴しているユーザーにも投稿通知が送信されることがあります。」

となっていますが、こちらは簡単にいうと「チャンネル登録者と頻繁にチャンネルを訪れている視聴者で、かつ通知ベルがオンになっている視聴者には、コミュニティ投稿の通知が送信されます」ということになります。

ちなみに通知ベルというのは、YouTubeの右上にあるベルアイコンのことを言いますが、こちらをクリックし「設定」をクリックすると、通知の設定をすることができます。

この設定がオンになっていると、YouTubeから視聴者へ通知が送信されます。

以上がコミュニティ機能の概要になります。

次に、コミュニティ機能の具体的な使い方について解説します。

コミュニティを投稿するには、YouTubeのトップページから右上のアイコンをクリックし、チャンネルをクリックします。

すると、チャンネルページが表示されるので、上メニューの「コミュニティ」をクリックします。

すると、コミュニティのページが開きますので、こちらの欄にメッセージを書き込みます。

コミュニティには、メッセージの他に「動画」や「アンケート」、「画像」なども挿入することができます。

メッセージを入力したら「公開設定」を選択します。

「公開」を選択すると全ての視聴者へメッセージを送ることができます、「全てのチャンネルメンバー」を選択すると、チャンネルメンバーシップのメンバーのみにメッセージを送ることができます。

なお、複数のチャンネルメンバーシップを開設している場合は、この欄に追加されるので、メンバーシップの種類ごとにメッセージを送信することができます。

全ての入力が終わったら、投稿ボタンをクリックするとメッセージを投稿することができます。

投稿ボタンの横をクリックすると、「投稿のスケジュールを設定」という項目もありますので、投稿を予約する場合はこちらを選択します。

下の「公開済」と「公開予約」は、それぞれの履歴が表示されるようになります。

実際にコミュニティのメッセージが投稿されると、こんな感じで視聴者へ表示されます。

動画や画像も投稿できるので、どちらかというと「Twitter」や

「Instagram」に近い使い方になります。

なので、今までは「動画の投稿はYouTubeで、視聴者とのコミュニケーションは他のSNSで」といったYouTuberの方が多かったようですが、コミュニティ機能を上手に活用することで他のSNSを使わなくても、視聴者とのコミュニケーションを十分に行うことができるようになります。

ただし、コミュニティ機能にはひとつ弱点があります。

それは、「パソコンを利用している視聴者の場合は、コミュニティに参加するには、わざわざYouTubeのコミュニティを開かないと参加することができない」ということです。

しかしですね、スマホを利用している人でしたら、YouTubeのトップページの動画と動画の間にコミュニティ投稿が掲載されるので、目に止まりやすくなります。

今の時代は、スマホでYouTubeを見ている人が約8割とされているので、それを考えるとコミュニティを投稿することは、視聴者に対していいPRになると、そういうわけなんですね。

では、一体どんなことをコミュニティに投稿すれば、視聴者との繋がりが深くなるのかを、これから代表的な5つの事例をご紹介します。

まずひとつ目は、「動画を投稿できない期間の繋ぎ役として使う」、二つ目は「アンケートを活用する」、三つ目は「撮影の裏側を見せる」、四つ目は「日常的な様子を見せる」、そして五つ目は「サブチャンネルや過去動画の紹介をする」の五つになりますが、これからひとつひとつ見ていきましょう。

まずひとつ目の「動画を投稿できない期間の繋ぎ役として使う」ですが、こちらは、動画と動画の投稿期間が空いてしまった場合に、繋ぎ役としてコミュニティ投稿をするということです。

例えば、火曜日と土曜日に週2本の動画を投稿していたとしたら、その間の木曜日にコミュニティを投稿すると言った感じです。

そうすることで、視聴者はあなたのチャンネルを忘れて、どこかへ行ってしまうということを未然に防ぐことができますので、動画の投稿頻度が少ないという方は、このコミュニティ投稿を繋ぎ役として使うことが効果的になります。

次に二つ目の「アンケートを取る」ですが、コミュニティ機能には最大5つまでの選択肢のアンケートを取ることができます。

例えば、「今まで投稿した動画の中で、どの動画が好きですか？」や、「どんなジャンルの動画が好きですか？」などのアンケートを取ることで、視聴者が何を求めているのかがわかるようになります。

さらに視聴者さんも、自分がアンケートに答えることで「このチャンネルの役に立っている」という実感が湧きますので、投稿者と視聴者の絆がより深くなりやすくなります。

次に三つ目の「撮影の裏側を見せる」ですが、こちらは、例えば次に投稿する予定の動画の、撮影をしている様子の写真や動画を見せるとか、撮影時に起きたハプニングシーンやNGシーンなんかもいいと思います。

そういった画像や動画を事前に投稿することで、次の動画のアクセス数アップにも繋げることができます。

次に四つ目の「日常的な様子を見せる」ですが、こちらは、通常の動画では見るできないプライベートな写真や動画を公開することで、視聴者の興味を引くことができ、さらに視聴者に特別感を味わってもらえるようになりますので、チャンネルの好感度をアップさせることができるようになります。

そして最後の五つ目の「サブチャンネルや過去動画の紹介をする」ですが、こちらは、YouTubeでは、どうしても最近の動画ばかりが見られがちですが、過去の人気動画や、サブチャンネルをお持ちの方でしたらサブチャンネルの最新動画を紹介することで、そちらの方にもアクセスを流し込むことができるようになります。

以上が、視聴者との繋がりが深めるコミュニティ投稿の5つの事例になりますが、この5つの事例はあくまでの例なので、色々なことを投稿しながら、自分の視聴者や自分のファンにあった投稿をしていくようにしてください。

以上が、「コミュニティ機能の使い方」についての解説でしたが、

いかがだったでしょうか？

コミュニティ機能を上手に使うことで視聴者との絆を深めることができ、再生数や登録者数アップにつなげることができますので、ぜひ参考にしてください。

というわけで、今回は以上になります。

最後までご視聴いただき、ありがとうございました。